

夢分析序論

長崎 紘明

夢は潜在的な意識や願望を解読するために一番良い暗号であるという。夢分析のカテゴリー(願望, 衝動, 不安, 予知など)は人間生活で重大な関心をもたれている。

願望は目的をもたらす, 衝動は情熱をもたらす, 予知なしには車の運転をはじめ, あらゆる行動や計画が成り立たない。我々は確実な事実を求めつつも, 曖昧な事象に惑わされる。安全で確実な結果を期待しつつ, 不確定要素や統計的要素に不安を抱く。このような思考のプロセスの中で, 我々が使っている選択枝図や, 1つの行動を選択する時には, 多くの対立要素の抑制や否定によって成り立っている。夢の前提条件はこれらの抑制プロセスである。

この稿では思考プロセスにおけるメモリーニューロンのモデルによって, 夢の現象を解析し, 夢の実例を解釈する。

キーワード: 夢・メモリー・思考プロセス

I. はじめに

夢の分析に関するレビューをするに当たって, 筆者は次の点に留意した。論文の素稿は1987年にプリンストン大学に滞在中に書き留めておいたもので, いつか整理して発表しようと思っていたものである。夢の分析に関しては, ジクモント・フロイトの膨大な仕事をはじめ, 一門の人々の数々の業績があるのでレビューのオリジナリティで悩まされた¹⁾。素稿では, 夢の映像と言語という問題にした。それで英語での記憶の表現と日本語での記憶の表現法に違いを見つけようと試みた。まるで言語の論文のようになった。夢の映像の表現は言語によるものであるし, 夢の中では1つの映像が, 数種の言語に対応したり, 逆に種々の映像が性や性器に対応したりする曖昧さがある。フロイトの方法は, 潜在意識に存在, 抑制された意識というものを前提としている。潜在意識はいつの時代も同じであろうか? 人間として太古の昔から共通し, 共有している意識もあれば, 時代や国や部族などによって習慣が違えば, 禁じられ抑制される行為や言語も異なる, とい

うことは, 夢の分析でも重視しなければならない。そこでの曖昧さも難しかった。

潜在意識として確かに意識されているものは, 本能的な意識であろう。本能的衝動が意識に昇ってくることがある。飲食への誘惑, 衝動買い, 衝動的なエゴイズム(行列の後へ並ぶときは短い列を捜すなど), 人によってはサディズム的な衝動をもつ人もいる。最近, 利己的遺伝子の存在が提唱されたように²⁾, ルールがあっても利己的遺伝子の働きによって, 自己中心的にルールを歪曲したり, 禁じられていることを破ったりするのは多々見かける。欲望には限りがないと言われるように, 自己中心性はとどまる所を知らないようにも見うけられる。2人の乞食が居れば, 場所取りの争いが生じるように, 2人のエゴは争いをしない限り, お互いに抑制しなければならない。人によっては, 何事も自己中心的で, 独占意識の強い人もいる。争いを避けて孤立する方法もある。また本能は刺激に対する反応として生じることもある。つまみ食いの衝動などは誰でも経験しているし, 枕絵や, ビデオで性的衝動を湧かせる努力もあろう。台風や交通事故では恐怖の衝動が突き上げるし, ガンやエイズも戦慄する恐怖をもたらす。

これらの刺激誘発性の本能も抑制の対象であろう。正常な感覚を保つためには, いつも刺激に反応してられないし, 俗に精神衛生を正常に保つ方法として,

山梨県中巨摩郡玉穂町山梨医科大学生理学講座第2教室

(受付: 1993年8月31日)

嫌な刺激からは遠ざかるし、忘れる努力もする。自然に忘れてしまうことを含めて、人間は忘れなければとても正常ではいられない。偏執狂的に1つのことにこだわる人もいる。それが成功法だと信じている人もいる。賭け事では大数法則があるのであきらめずに何度も大金を費やせば良いと信じている人もある。

数字にこだわる偏執狂もある。NHKの株価と円相場の報道なども一日に何十回もやるのは、経営者の偏執狂的な数字好みであろう。これらの人は数字で安心し、数字で恐怖を味わう。収入へのこだわりも含めて、数字のもつ意識への影響は、現代人の共通する悩みや病気といえよう。異常ともいえる健康志向も数字にこだわる。いわく、カロリー、血圧、血糖、体重等である。健康志向は病気や死への恐怖だけでなく、禁煙と同様に、成功法則として意識されているようである。偏差値へのこだわりも成功病のようで、現代の家庭生活を悩ましている。

このような潜在意識は、私的な場面でしか表現されないものだし、個人差の大きいものである。普通は抑制されているが、私的には意識に上がってくるし、黙って考えていることなので、行為としては観察できることが多い。しかし犯罪のように、加害者も被害者も2度と思い出したくないような記憶であると、決して表現されない意識として、奥深くしま込まれているものもある。戦場での経験に悩まされ続けている兵士の沈黙、帰国後も社会復帰できずにホームレスの生活をしている人々もいる。罪の意識は余人には推定しにくいであろう。しかし、人間は自己を正当化する作用を有しているので、それが強く作用することで罪の意識から抜け出すのだから。

II. 夢における現実からの離脱

夢の中では自分が他人のように感じられたり、夢の分析では登場人物が自分の代理をすることもある。これはなぜだろう。フロイトの方法では³⁾、潜在願望が夢に出現する場合に、代理人物が願望を表現したり、代理行為によって願望が表現されたりする。願望が単純に夢にならない理由は、禁止行為だから他人が代理してくれることによって、自己の責任を逃れたり、自己を正当化していると考える。夢に思いがけない人物が登場するのは代理作用によるものか、正当作用による

ものである場合と、その人の記憶が直接に出現する場合とがある。これが夢における現実からの離脱現象の1つである。

夢の中で急に場面が変わることがある。夢の中でさえ不思議なことだと感じていることもある。このような場面の急変は、現実の物理的な時間や空間の概念を離脱している。子供の想像力のように、奇想天外である。つまり数少ない平易なコンセプトで、複雑な事を理解しようとするような、純粋な面白さと、高度なコンセプトを使えないもどかしさが、夢の進行やストーリーの進行に作用してくる。言語としても高度なコンセプトは夢に出現しにくい理由がありそうだ。現実の時間空間が無視されることも、現実からの離脱現象である。discontinuityと言う人もある。確かに私達日本人が夢で日本語を喋るときも、英語を喋るときも、もどかしい程、言葉を捜すし、簡単な言葉を使うようである。やはり睡眠中の脳はどこかが休んでいて、フル回転できないのであろうか。特に実時間に即応した思考ができないようである。

夢の言語的な問題として吉本は⁴⁾、魅力的な提案をしている。「なぜなら」とか「しかし」というような副詞的な接続は省略され、助詞によって意味を指定する際に夢の文法では映像の場面が変わる。あたかもジュエチャーゲームのように、1つの言葉を映像で示したあと、それを置いておいて、次は別の映像で別の言葉を説明する方法で意味を構成するという考えである。さらに言語の思想的な意味は退行して意味を失い、言語の原始的な意味が夢に出てくる。原始的な言語の発達は、労働時のかけ声とか、性的な呼びかけとか、おそらく動物の音声によるコミュニケーションに近い音声と意味であろうという。

III. 思考セオリー

夢の中での思考はどんな特徴があるのか実例をみてみよう。デメント教授が学生に宿題を出して何の夢を見たか報告させた。宿題は「HIJKLMNOの語の中で使用頻度の1番高い語はどれか?」という暗号解読法のような問題であった。翌日、何人かの学生が水に関する夢を見ていた。H to Oが夢の中でH₂Oになっていた可能性があるという⁵⁾。しかし水の夢はふだんの夢にも出てくるので、必ずしも宿題が夢に出て水と

なったとは解釈できない。

コーヘン教授の奥さんがイニシャルから有名人のフルネームを当てるゲームをしていた。「E. E」の名前が浮かばなかった。その夜、学生時代の数学の教授の夢を見た。その人はEarl Erwing氏であった。この夢は偶然とは言い難い。思考のプロセスが夢の中でもイニシャル捜しをやっていたかのように解釈される。

以上の2例はストレートな思考である。シニカルな思考のように一種の個人的偏見の入らない思考のようである。辻褄を合わせる不自然さはない。論理的な整合性もストレートになっている。

次に本能性の意識に関する例を見る。

ウィリアム・バーンズの詩⁹⁾

I'd a dream to-night as I fell a sleep, Oh! the touching sight makes me still to weep; of my little lad, gone to leave me sad, Aye, the child I had, but was not to keep.

(私は子供を失ってしまった。私は泣いている。私を残して行ってしまった。今はもういない。)

As in heaven light, I my child did seek, there, in train, came by children fair and meek, each in lily white, with a lamp alight; each was clear to sight, but they did not speak.

(天国で私は坊やを捜した。天使のような白い服の子供達が列になってやってきた。手には灯を持って明るく照らしている。けれども誰も喋らない。)

Then, a little sad, came my child in turn, but the lamp he had, Oh, it did not burn;

(私の子がちょうど前に来たけれど：ランプの灯が燃えていない。どうしたことか!)

He to clear my doubt, said, half turned about, "Your tears put it out; Mother, never mourn."

(母さんもう泣かないでよ。母さんの涙で僕のランプが消えてしまうよ。)

思考のプロセスは次のようになる。

Better-Halfを失った嘆きと悲しみ

泣いている私

天国に子供を捜しに行く私

幸運にも子供達の行列に出合った私

天使のような子供達はランプを手に入れている

顔が明々と見える

私の子の順番が来た。どうしたことか、私の子のラン

プは消えていて見えない。

“母さんの涙で消えたんだよ”と諷められる。

ここでは衝撃的な悲しみと、それに耐えること、何とか立ち直ろうとする気持などが映像になったと思われる。

次の例は高村光太郎の母の夢である⁷⁾。

下の室なるぼんぼんの間遠くに五つ打つ気はい、ちちと鳴るただ一律の此の音の行くをたどれば、酔いごこち、我をむかしにかへらし。

かへすと言うや今見れば、

大沼の岸に母います、我をまねきて。

赤城の奥の朝霧は、藍に胡粉をさす黒檜山、
我は今母と歩めり白樺の白き枝さす薄緑、空すく森に。
母黙し、我黙せり。

かかる時、大沼をすべり、こだまして鳴く鳥の声、
鳥の声せし方をながむると、右を左に寝返りぬ。

あないかに、かへり見したる一瞬に消えし母かな。
驚きて叫ぶとすれば、ふくいくと薫る手ありて、
我が口にかろく掩ひぬ。眼にみるは昔の少女。

阿片の臭ひ身にまきつ、物もおぼへず草の上に。
我が眠る耳にけちかく暖かき息こそかかれ。
君は世に何を欲りして、かく遠き海のあなたにおはするや。

泣くと響きて、休みなき声す。

下の室なるぼんぼんの

どよみて六時を打つものか。

朝方の5時から6時の夢である。

大沼の岸辺で母に招かれる。

母の側に行き、二人は黙して白樺の林を歩く。

鳥の声に気をとられていたら

母は一瞬に消える。叫ぼうとする口を掩われる、

優しい阿片の臭いのする少女の手。

少女の息が耳にかかるような近さで問われる

なぜこんな遠い国に来ているの？

慈母の夢、優しい外国人(?)の臭いをもつ少女の夢は母への思慕と外国滞在中の優しい少女とが、理想の女性像として登場しているようだ。現実には、極貧

の創作生活への自問自答のプロセスのようである。この場合に夢の中の母は手招きはしたけれども言葉は喋っていない。バーンズの詩でも天使は黙っていて喋らないと書いてある。このような夢の中で喋らない人物は、何かの代理作用かあるいは夢の中での特有なプロセスである。バーンズの場合であれば、「私の子供はどこにいるの?」と質問したいと思うに違いないし、高村の場合でも「元気ですか」くらい尋ねるのが自然だと思うが、夢の中では沈黙しているのは不思議である。夢の思考には欠かせない沈黙である。多くの場合、亡くなった人は夢の中では沈黙しているようである。だからバーンズの子供は行方不明か、生き別れの子供かもしれないと思う。高村の場合は亡くなった母だから黙して語らず、代理の少女が話しかけたと考えられる。しかし生きている人でも夢の中では言葉を喋らないことも多々ある。これは代理作用とみなすべきであろう。

IV. 代理作用

夢判断では多くの代理作用が利用されている。例えば武器や道具は男性や男性の生殖器、材料や加工品は女性というように。これは原始時代の男女の分業と似ているし、言語の発展とも関連してフロイトの夢判断の重要な解説法になっている。

家や箱型のもの、大地などは女性的なものや、身体、あるいは母親とのつながりを示す。現代でも家庭が暖かい家や母親の存在によって保たれるので、そのような代理作用は矛盾していないと思う。但し大きなビルや学校、役所などは権威や社会を代理するものだろうし、ストレートな意味になるだろう。

代理作用は、事物や人物とコンセプトの間に、言語の上で関連している場合に、似ているコンセプトが代用されたり、あるいは連想されるコンセプトが出現したりするのであろう。これは記憶の中でいくつかのコンセプトや事物、人物が連想的に導き出されることによるものだろう。事物や人物を認識する際のカテゴリーゼーション、あるいは記憶するプロセスで結び付いた事物、人物の連想的な結合が前提になっているのだろう。したがって記憶を再生する場合にも、あるいは記憶を忘却する場合にも、以前にあった連想的な結合が再生されるのが自然だ。

心理分析の方法として、現在何に一番関心をもって、あるいは何を悩んでいるかを特定する場合に上記のような連想法を使って、多数の人名や言語などから、コンセプトをしぼっていく方法もある⁹⁾。意外な人や意外な事柄が気にかかっていることを見つけたり、コンプレックスを発見することができる。このような広い意味での attention、つまり興味を抱いている事物、人物が夢に出現しやすいこともあろう。先にとりあげた例でも、眠る前に熱中していたゲームや課題が夢の中にも継続されている。

代理作用の原因となる思考のプロセスとして、もう1つは記憶する際に既に他のコンセプトに置きかえて憶えている場合である。例えば「西向く土」であるとか、「一夜明ければ国が見え」とか「時計の針で15時30分方向」であるとかのように、憶え易い形、あるいは、再生し易い形に転換して記憶した場合である。これも一種の連想ゲーム式のプロセスをもたらす。アイコンニックメモリーも映像としてのドットの数を数値に変換するプロセスがある⁹⁾。目の前のスクリーンからは既にドットは消えていても、記憶の中で数えて数値として記憶すれば、相当の長期の間、記憶していられる。このように曖昧な映像記憶を確かな記憶に置きかえるプロセスは日常生活でも多く使われる。

最近宮下らによって連想型メモリーニューロンが大腦側頭葉に発見された¹⁰⁾。宮下は「どんなレベルの言語で考えるか?」が重要であるという。連想型のメモリーニューロンは、特定のフラクタルパターンの図柄を記憶している。そしてその特定の図柄を見せたときに、神経の発火活動が生じる。そしてその特定の図柄を記憶する学習過程で、その図柄の前後に見せられた図柄に対しても、神経の発火活動が生じる。それは図柄の順番を憶えていて、その特定の図柄を特定している証拠であった。このような順番による連想のほか、顔の特定をする際に、髪とか髭とかの形の輪郭が重要であることは既にヒューベル・ウィーゼンによって明らかにされている。

V. ヘップのセオリー

ヘップのセオリー¹¹⁾は、記憶と忘却におけるニューロンのアセンブリを示したものである。ヘップはさらに思考プロセスの発達に伴って、コンセプトは現実的

な感覚から離脱したり、言語の順序を入れ替えても同じ意味を持つことや、いくつかのコンセプトの複合などが生じることを示唆している。

まず記憶と忘却に関するヘップのセオリーは以下のとおり。忘却には3つある。

1. diffuse ; つまり何かまぎれて消失する。
2. habituation または extinction ; 慣れによって記憶は一時的に消去され、刺激に対して、反応しない。
3. retroactive inhibition ; 新しい学習や新しい記憶によって、以前の記憶が抑制されたり、歪曲されたりする。

1のdiffuseには瑣末なこと、注意をしてないこと、印象にないこと、時間が経って忘れたことなどが含まれる。2は条件刺激に対する反応性が悪くなったり、反応しなくなることで、反応に対する報酬に飽きる(その報酬には既に満足している)か、あるいは罰に対して危険や恐怖のないことを学習した結果、条件刺激に反応しない状況である。最近カandelらは¹²⁾、Habituationは感覚入力と運動出力をつなぐインターニューロンにおけるプレ・シナプテック抑制によるものであることを明らかにした。したがって記憶は構造的には入力と出力を結ぶインターニューロンで保持されているが機能的には、入力を運動出力に変えないような学習がシナプスに生じたことを示す。一方新しい学習の成立には、そのシナプス結合が興奮しやすいような、レセプターが作られることが明らかにされた。

最も簡単なモデルで、記憶と忘却のカップリングを示した。抑制性のインターニューロン(I)が存在すると、ニューロンAの興奮はニューロンXを興奮させるが、ニューロンYを抑制する。全く同様に抑制性インターニューロン(J)はニューロンYの興奮時にニューロンXが抑制される。このような側方抑制は感覚入力の求心性伝達時に良く見られるシステムである。これをメモリーニューロンに適用すると、メモリーニューロンAの興奮はメモリーXを想起させるが、メモリーYを抑制する。ヘップはさらにA→B→Cのセットの興奮がB→C→Dのセットを興奮させるシナプス結合を想定している。このようなメモリーのループは連想型メモリーの一番良いモデルである。

クリックらは¹³⁾、夢は忘却のために見ていると書いている。記憶のため、学習のために数々のメモリー関

連シナプスが興奮する。それらのメモリー関連シナプスでの興奮が消去されるときに、夢の映像が出現するし、関連のない事項が同時に出現するのも、学習過程で仮に結合したメモリー間での結合が消去されるときに再生するものであろうと考えた。

本項では夢の内容を分析して、人間の思考プロセスと関連させるように試みた。REM睡眠と夢睡眠はイコールでないので、REM睡眠の神経機構へは言及しなかった。次回に譲りたい。

VI. 参考文献

- 1) C. G. Jung ; Memories, dreams, reflections, translated and edited by A. Jaffe (1965) Uintage Books Edition
- 2) R. ドーキンス ; 利己的な遺伝子. 日高敏隆他訳 (1982) 紀伊国屋書店
- 3) 外林大作 ; 夢判断 (1993) 光文社
- 4) 吉本隆明 ; 言語にとって美とは何か (1965) 勤草書房
- 5) W. G. デメント ; 夜明かしする人, 眠る人. 大熊輝雄訳 (1988) みすず書房
- 6) 平井正穂編 ; イギリス名詩選 (1992) 岩波文庫
- 7) 高村光太郎選集 (1981) 吉本隆明, 北川太一編, 春秋社
- 8) 河合隼雄 ; 無意識の構造 (1993) 中公新書
- 9) 大山正 ; 認知と記憶 (1989) 脳のメカニズム—機能分子と記憶「大学と科学」公開シンポジウム委員会編。クバプロ
- 10) 宮下保司 ; 大脳のメモリーニューロン (1989) 脳のメカニズム—機能分子と記憶「大学と科学」公開シンポジウム委員会編。クバプロ
- 11) ヘップ ; 行動学入門, 白井常他訳 (1968) 紀伊国屋書店
- 12) E. Kandel ; The long and short of Memory in Aplysia ; a molecular Perspective (1986) Fidia Research Foundation Neuroscience Award Lectures
- 13) F. Crick, G. Mitchison ; The function of dream sleep. Nature (1983), 304, 111-114

Abstract**Analysis of dream context**

Hiroaki NAGASAKI

Dream is used to be appearance of subconscious and pieces of memories during sleep, while reverie is a day-dream like replaying pieces of conversation. Dream and reverie consist of normal network of memory and learning but include the subconscious level's activity. The subconscious is another human mental activities including unsatiable libidos, concealed intentions, grievous grudges, temptations, rages, and fears. Those are used to be suppressed in the normal human activities level, but often to be appeared. For example, car and weapon change the personality to induce accidental injury and even murder. Otherwise the subconscious contains private and selfish motivations. Sigmund Freud and his school have done many works to identify the subconscious in dream. The context of dream is often abnormal in date, time, place and persons. How these abnormality concern to the subconscious memories and processing will be discussed in this review.

We pointed out three rules of dream analysis ; (1) Thinking rule, which is to know how the conscious thinking appears in dream. (2) Substitution rule, which is to know why the dream analysis uses symbols and substitutions. (3) Learning rule is to know the neuronal model how old memories extinct by new learning.

On those three rules, we tried to compare Japanese dream and English dream, because the meaning of words and symbols have changed through countries and era. Especially the speaking context is often different from the thinking context in the same person. Sometimes dream used to use a metaphor to show their intention indirectly. The metaphor is one of typical substitution to express covered mental activities.

Department of physiology II